成増学びのエリア（成増ヶ丘小学校・成増小学校・赤塚第二中学校）

板橋区立赤塚第二中学校　学校だより　＜第３号＞

教育目標「立志・鍛錬・協調」

芙　蓉

令和７年６月１９日
校長　木村　知広
〒175-0094
板橋区成増 3-18-1
TEL （3939）0247

成果を出すためには

校長　木村知広

運動会では、実行委員を中心にクラス・学年・学校全体で団結・協働し、素敵な運動会を創り上げることができました。改めて皆さんの頑張りに感謝いたします。ありがとうございました。このように素敵な成果を出した皆さんですが、これからも部活動の大会や定期考査、進路決定に向けた取組等でも頑張る機会が多いことから、６月９日の朝礼では「成果を出すために」をテーマに、下記の動画（下記のリンクからぜひご確認ください）を視聴しながら考えを深めました。

動画【谷繁元信】プロ野球選手/一流と二流の違い【祝プロ野球殿堂入り】」
https://www.youtube.com/watch?v=vTm8t0RjtfQ&t=77s

プロ野球は、卒業年度の高校・大学野球部員の約０．１６％しかプロ野球選手になることができず、さらに、１０年以上在籍できるのは約４０％といわれる厳しい世界です。そのような厳しい世界で野球殿堂入りした谷繁元信さんのインタビューは一流と二流の違いについて自身の考えを述べおり、「みんな見えないところで相当努力している」「努力を続けることができるかできないか」「自分で考えて練習できる人」「目標とそのプロセスが明確だった」「人のせいにしてしまう人は二流」「一流の人は自分に厳しく逃げ道を作らない」「目標を設定する（最終目標までの中間ゴールを細かく設定する）」など、私たちにとっても大変参考になるものでした。

また、動画視聴後は、私からの講話をもとに改めて「成果を出すために」のテーマについて考えを深めるとともに、小説家の井上靖さんの言葉「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」を紹介しました。その後、教室に戻ってから、朝礼での動画と講話を受けて「感じたこと、考えたこと、気がついたこと」を各自が振り返りましたので、一部をご紹介します。

【振り返りの記述】

◇スポーツや学習、何でも「取り組む力、努力」が必要だとわかりました。一気に上を目指すと、そこまでの基礎が足らなくなり最初からやることになる。まさに今の私の状態です。基礎が足らずここまでやってきた努力がすべて無駄になってしまいました。これからは、基礎を固めコツコツと練習を重ねていきたい！と思いました。

◇成功する人は自分から努力をして様々な技術を磨いたり、環境のせいにしなかったりすることがわかった。これに共通していることはすべて自分でなにか行動しているということだ。他人に何かをしてもらうのではなく自分を変えるのは自分しかいないということだと考えることができた。

◇みんな夢（希望）を叶えるためにみんなで練習するだけじゃなくて、自主練習や夢について調べたり、自分にできることがないか・自分のどこをもっとよくできるかなど考えて希望を実現してると改めて知りました。私にも夢があるので実現するまで自分にできること・もっとよくできるところを見つけて成長していきたいと思います。また、その夢が実現できたらまた新しい夢を見つけて成長していきたいと思います！。

◇「努力するものは、希望を語る、怠けるものは、不満を語る」これが一番心に刺さりました。

◇努力するのは、大前提でその上に自分で考えて練習して行動できる人が一流なのだとわかった。ただがむしゃらにやるのではなく、小さな目標をたくさん設定して、それを少しずつ達成していくことが最終的な目標への道のりなのだとわかった。

◇良い結果を収めるにはやっぱり努力することが大事で、もし失敗をしてしまっても、誰かのせいにするのではなくなぜ失敗してしまったのか考えることが大事だと思いました。誰かに言われてやるのではなく自分から細かい目標を立てることが大切だと分かった。

◇今日の校長先生の話を聞いていて、自分で成果を出すには、人並みの努力だけではなく、さらに自分自らが意識して努力を行うことで成果が出ると知り、成果というのは、自分自らがたくさんの努力をした結果が成果であり、そのためには長い時間を費やす必要があるのだと思いました。また、最終目標の間に小さな目標を作るのも大切だと思いました。なのでこれからは、一つの大きな目標に対してのコツコツできる目標を作って、努力しようと思いました。

◇一流と呼ばれる人は努力もあるけれど大部分が才能だと思っていた。しかし今回の話を聞き、大部分は努力だということがわかった。全員で練習するだけでなく自主的に計画を立てて練習し一流と呼ばれるように頑張っていると知った。そして自分の失敗を認め、それに対してしっかりと向き合うことも大切。社会とスポーツとかは別だと思っていたけれど、しっかりと努力して自分の失敗と向き合える人が社会でもすごい人になれるとわかり、スポーツのことも考えようと思った。

◇一流の選手になるにはゴールに向けて逆算細かく目標を決め、それを継続していかなければいけないことがわかりました。それはスポーツ選手に限らず、ただの学生の私にも当てはめて考えることができ、テストや習い事に向かうときに、そんな準備の仕方にすればより良い結果を得ることができるのだろうなと思いました。他人や環境のせいにせずに、どうすれば自分がパワーアップするかよく考え、日々成長していきたいと思いました。

◇本当に一流の人は元からの才能がずば抜けていることもあるが何よりも自分に見合った努力を怠っていない人なんだと知りました。また、悪いことがあったら他人のせいにするのではなく自分の改善点などを見直すと知りました。私はグループ活動などで失敗してしまったとき「あの人があだったから」と思ってしまうことがありました。しかし、自分にも何らかの原因があったことで引き起こされてしまった失敗なので、相手のせいにして失敗を押し付けるのではなく、自分のどの行動が悪かったのか、次失敗しないようにするためにはどうすればいいのかなどを考えたいです。また、自分のやりたいこと、夢、目標にたどり着けるように日々の努力も怠らないようにしていきたいと思いました。

◇私もいっぱい努力して試合に勝てるようになりたいと思った。才能だけで勝つんじゃなくて、才能と努力で勝つのがすごいなと思いました。どのくらい努力したのだろうと考えました。二流の人は、何かのせいにするっていう図星をつかれて心に刺さりました。

◇結果を出すためには、元からある才能を引き出すための沢山の努力が必要なんだなと思いました。そして、結果が出せた後も自分に傲らずさらなる目標に向かって努力をし続けることが本当の一流なんだなと感じました。ですが、結果が全て大事なわけではなく、結果が出せなくても目標に向かって努力をし続ける過程が大切で、その過程がいつか役に立つんじゃないかと僕は考えました。なので努力をこれからもしていきたいです。

◇今日の全校朝礼で、私は「達成できないような目標よりも、出来そうな目標を一つずつ立て、まずそこから一歩一歩進んでいく」ということを知りました。どんなにすごい目標に向かって頑張っても、そこへ向かう道筋が曖昧だったら、その目標を達成するのは厳しい。だから、まずは「塵も積もれば山となる」というように、一歩ずつ確かな道を作っていくことが大切ということなんだなと思いました。

◇一流と二流の差は自分以外のせいにするかしないかということが分かりました。また、”逃げ道を作らない”ということも分かりました。最後に紹介された「努力するものは希望を語り、怠けるものは不満を語る」という言葉で自分は不満のほうを語っているように感じたのでこれから努力できるものはしていき、野球選手などのプロの中の一流や二流などに限らず、他のものや人のせいにすることをしないように、日々の生活でも気をつけていきたいです。

◇大きな目標に向かっていくには、目標までの道のりを細かく詳しく立てることが大切だとわかった。今後、将来を決める受験という壁があり、それを乗り越えるには細かく計画を立て、自分なりに努力していきたい。また、人のせいにするのではなく「なぜできなかったのか」「どうしたらうまくできたのか」などの原因を考えて、次にはできるようにしていきたい。

◇勉強や運動においても、目標を決めてそれに向かって一つ一つにステップを決めて考えることによってはじめに何をすればいいのかを明確にすることができ、理想の近道を見つけることができるということに気づくことができました。また、一流の人でも努力を惜しまず更に上に行こうと努力をしていると考えると、一流の人の考え方を見習って頑張っていきたいなと思いました。
◇最終的な大きいゴールを決めて、その間に中間のゴールをたくさん作るという方法はこれからやってみようと思った。そして、最後の「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」この言葉は覚えておこうと思った。

CS(コミュニティ・スクール)委員会

５月１７日（土）に第１回 CS(コミュニティ・スクール)委員会を開催しました。昨年度に引き続き、委員長は元 PTA 会長である二瓶　拓穂様にお願いしました。また、右の表の皆様に今年度も委員をお願いいたしました。

今回の委員会では、校長より今年度の学校経営方針について、部活動地域移行の現状と今後について説明させていただきました。４月の全校朝礼で生徒に話した内容をご紹介し、生徒の安心、安全について熟議を進めました。

当日行われた引き渡し訓練の様子をご覧いただき、訓練ではスムーズに引き渡しができているが、有事の際に避難所開設と並行して生徒の引き渡しをする場合については、その時にならないと見えてこないこともあるのではないかというご意見もいただきました。また、立川市の小学校の事件を受けて、正門や玄関のオートロックについて検討できないかというご意見もいただきました。

コミュニティ・スクール委員名（敬称略）	
	コミュニティ・スクール委員長、元 PTA 会長
	成増第一町会長
	本校元校長、保護司
	主任児童委員・学校支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ代表
	前成増小学校 PTA 会長
	元 PTA 会長、地域協力団体
	元 PTA 会長
	前 PTA 会長
	PTA 会長
	成増地域センター所長
	なります児童館長
	成増ヶ丘小学校長
	成増小学校長

また、学校より、昨年度校地内の樹木の検査を行った結果、正門側の歩道沿いに植えられている桜の木４本がＣ判定（不健全）と診断されたたことをお伝えしました。伐採して新たに桜の木を植樹していくことが考えられ、次回以降の CS 委員会でご意見等をお伺いしていきたいとお願いしました。次回第２回 CS 委員会は、７月１２日（土）に行います。

生徒の活躍

〇令和７年度板橋区中学校バスケットボール春季交流戦
　　男子　第２位　　女子　優勝
〇第 76 回東京都中学校地域別陸上競技大会（西部）
　女子共通砲丸投　第６位　　女子共通 1500m　第５位
　女子２．３年 800m　第２位　　女子１年 800m　第３位
　男子２年 100m　第８位
　男子共通 4×100m　第８位

学校行事等のお知らせ

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事等の様子を公開しています。右の QR コードもしくは下記の URL からご確認ください。また、玄関にも生徒の活躍等をサイネージとして公開しています。ご来校の際にはぜひご覧ください。
https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog

赤二中日記